



## 超音波検査～膵臓について～

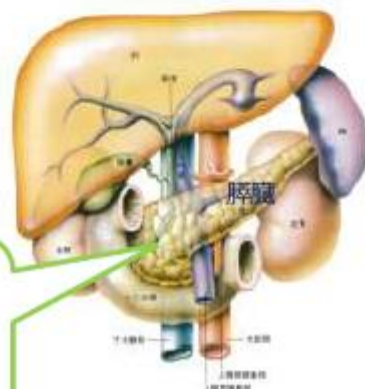
過去のニュースレターで、超音波検査における肝臓・胆嚢について特集しました。  
今回は、膵臓についてお話しします。

### 膵臓ってどんな臓器？

膵臓は胃のうしろ側にあり、長さは20cmほどの左右に長い臓器です。

膵臓は・・・

- ① 食べ物を消化するための「膵液」を作る。
- ② 血液中の糖分をコントロールするためのホルモンを作る。  
どちらもとても重要な役割です。



日本医師会発行医学書院発売

監修：竹原 靖明 「腹部エコーのABC」は另冊

### 超音波検査の膵臓の結果を見てみましょう

#### ㊦異常なし

→今年の検査では異常が見つかりませんでした。

#### ㊦描出範囲内異常なし・膵一部描出不良

→一部、膵臓が見えていないところがあります。

膵臓は、胃の裏側(背中側)に位置しています。

おなかの上からエコーをあてて膵臓を見ようとする、皮下脂肪・胃や腸のガス・内臓脂肪が観察の妨げになることがあります。

描出不良を出来るだけ少なくするため、体位変換やプローブの圧迫で、内臓やガスの位置を移動させて検査を行っています。それでも、体型やその日の体調により見えづらいことがあります。毎年描出不良の記載があるようでしたら、念のため別の画像検査(CTやMRI検査など)をお勧めします。

#### ㊦膵臓について精密検査が必要です。とコメントがあった方

→詳しい検査が必要です。MRI検査等について医師の指示をお受け下さい。

再検査・要精密検査の結果が出た場合、結果説明は無料で行っています。

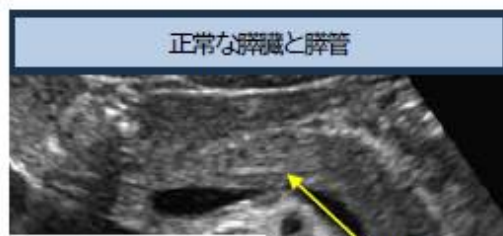
(お電話でご予約下さい。)

MRI検査については保険診療となります。医療連携先の病院をご紹介しますことができますので、診察時に、当院の消化器専門医にご相談下さい。

## よくある精密検査の所見について

### 膵管拡張って何でしょう？

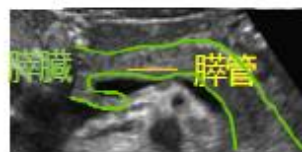
消化液である膵液は膵臓で作られ、膵管を通して十二指腸に流れます。この流れが妨げられると、上流側の膵管が太くなります。原因として膵石や腫瘍が見つかることがあります。どんな原因で太くなっているのかを調べる必要がありますので、専門医に受診の上、MRIなどの精密検査をお受け下さい。



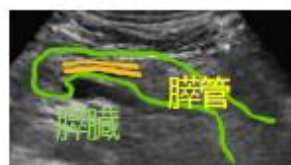
正常な膵臓と膵管



膵管が拡張している膵臓



膵管は、計測すると 2mm 以下のとても細い管です。この画像でもごく細い管が描出されますが目立ちません。



膵管が太くはっきりと描出されています。計測して 3 mm 以上の場合は「膵管拡張あり」とします。

### 膵のう胞って何でしょう？

膵のう胞は、膵炎などの炎症によって形成されたものや、腫瘍性のものまでいろいろな種類があります。近年、検査装置の画質の向上によって見つかることが非常に増えてきています。のう胞の種類によって、そのままにして良いものか、治療が必要であるかは、他の検査(MRI 等)と合わせて判断することが必要です。精密検査の指示があったら必ず検査を受けましょう。



膵のう胞

一度の MRI 検査で悪性の腫瘍が見つからなくても、膵のう胞の種類や大きさによっては、定期的な検査を必要とすることもあります。

精密検査受診後は、今回の結果だけでなく、次回の検査の必要性の有無も含めて医師にご相談ください。

健康診断のご予約やご相談は、TEL : 03-3668-6806 へご連絡ください。



ニュースターやホームページなどを通じて、皆様の健康管理にお役に立てる情報を発信してまいります。ぜひ皆様からのご意見、ご感想をお寄せください。

公益財団法人早期胃癌検診協会 事務局

TEL : 03-3668-6803 / E-mail : mail@soiken.or.jp